

作成日：1998年08月21日

改定日：2013年04月12日

## 製品安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名：塩化銀沈殿凝集剤

パーツNo.：E 250224-A

会社名：平沼産業株式会社

住所：〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町1739

担当部門：設計部

電話番号：(029)247-6411

FAX番号：(029)247-6942

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

引火性液体：区分外

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分4

(経皮)：区分外

(吸入・蒸気)

：区分外

(吸入・粉じん、ミスト)

：区分外

##### 皮膚腐食性・刺激性

：区分2

##### 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

：区分2A

##### 環境に対する有害性

水生毒性(急性)：区分3

水生毒性(慢性)：区分外

上記で記載がない場合は危険有害性は分類対象外または分類できない。

絵表示またはシンボル



注意喚起語

：警告

危険有害性情報	: 飲み込むと有害 皮膚刺激性 強い眼刺激 水生生物に有害
注意書き	
安全対策	: 使用後に取扱い説明書入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。 取扱い後はよく手を洗う。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 環境への放出をさける。
救急処置	: 取扱い後はよく手を洗う。 次の場合は直ちに医師に連絡し診断/手当を受けてください。 (皮膚刺激、発疹が生じた場合、眼に入った場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合) 飲み込んだ場合: 口をすすぐ。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合: 流水で数分間注意深く洗い流す。次にコンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
保管	: 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。涼しい所に置く。 施錠して保管する。
廃棄	: 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

---

### 3. 組成および成分情報

#### 単一製品・混合物の区別

	: 単一製品 (水溶液)
化学名または一般名	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup>
成分および含有量	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup> を約30%含有する水溶液
化学式	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup> (RN(CH <sub>3</sub> ) <sub>3</sub> ) <sub>+</sub> · Cl <sup>-</sup>
官報公示整理番号	
化審法	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup> 2-184
安衛法	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup> 公表
CAS No.	: アルキルメチルアンモニウムクロライド <sup>†</sup> 112-00-5

---

### 4. 応急処置

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の
--------	---------------------------------

- 診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹼で洗い流す。症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- 応急措置をする者の保護 : 救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。  
使ってはならない消火剤 : 情報なし。
- 特定の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素等の有害ガスが含まれるので、煙の吸入を避ける。
- 特定の消化方法 : 火元への燃焼基源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消化を行う者の保護 : 消火作業の際には、適切な保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、塩化水素等の有害ガスが含まれるので、適切な呼吸用保護具等を着用して煙の吸入を避ける。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させて取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二時火災の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花

を発生しない安全な用具を使用する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の装置

### 取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項 : 眼および皮膚への接触を避ける。

安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

### 保管

適切な保管条件 : 屋内の通気の良い場所で容器を密閉して保管する。

安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

---

## 8. 暴露防止措置

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度 : 設定されていない。

### 許容濃度

日本産業衛生学会(2010年度版)

: 設定されていない。

ACGIH(2009年度版)

: 設定されていない。

### 保護具

呼吸器用の保護具 : 必要に応じてマスク等を着用する。

手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。

眼の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要に応じてゴーグル型または全面)。

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣。

適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

---

## 9. 物理・化学的性質

形状 : 液体

色 : 淡黄色透明

臭い : 僅かに固有臭有り。

臭いの閾値 : データになし。

pH : 約6(5%水溶液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし。

融点 : データなし。

分解温度	: データなし。
引火点	: 示さず。
発火点	: データなし。
爆発特性	
爆発限界 上限	: データなし。
爆発限界 下限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重	: データなし。
溶解性	
水溶解性	: 可溶。
溶媒に対する溶解性	: アルコールに可溶。
n-オクタノール/水分配係数	
	: データなし。
自然発火温度	: データなし。
その他のデータ	: データなし。

---

#### 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし。
避けるべき条件	: 情報なし。
混触危険物質	: 情報なし。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。
その他	: 情報なし。

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口: LD50 500mg/kg以上(マウス) 経皮: LD50 >2,000mg/kg(未知成分30%を含む) 吸入(気体): 分類対象外。 吸入(蒸気): LC50 >20mg/L(未知成分30%を含む) 吸入(粉じん、ミスト): LC50 >5mg/L(未知成分30%を含む)
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない。
発がん性	: データ不足のため分類できない。
IARC	: リストアップされていない。
日本産業衛生学会	: リストアップされていない。



## 輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
行う。船舶安全法に基づく危規則腐食性物質に該当するので、  
海上輸送の場合は同法の規定に従って容器、および標識その他  
必要な措置を講じて輸送する。

---

15. 適用法令

## 国内規制

化審法	：非該当
毒物劇毒物取締法	：非該当
労働安全衛生法	：非該当
海洋汚染防止法	：非該当
船舶安全法	：危機則告示別表第1(腐食性物質)
航空法	：告示別表第1(腐食性物質)
化学物質管理促進法	：非該当
海洋汚染防止法	：非該当
外原規2006	：該当

## 海外物質登録情報

T S C A	：収載
E I N E C S NO.	：203-927-0

---

16. その他の情報

## 引用文献

- 1) 第一工業化成(株) カチオーゲン TMLのMSDS(整理番号：22A/75014)

\* 本製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成されていますが、必ずしもすべての情報を網羅するものではありませんので、取扱いには充分注意してください。また、記載内容は情報提供を目的としたものであり、いかなる保証をなすものではありません。

以上